

令和 6 年度 第 3 回 緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和 6 年 12 月 13 日(金) 16:30 ～ 18:05

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 9 名：笹良剛史（豊見城中央病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、屋良尚美（県立中部病院）、中島信久（琉大病院）、友利寛文（那覇市立病院）、安座間由美子（中部病院）、川田聡（南部医療センター・こども医療センター）、田場純子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）、増田昌人（琉大病院）

欠席者 5 名：中村清哉（琉大病院）、安次富直美（琉大病院）、田仲斉（県立宮古病院）、酒井達也（八重山病院）、名嘉眞久美（キャンサー・グリーフおきな和）

陪席者 2 名：有賀拓郎（琉大病院）、屋嘉部麻美（琉大病院）

報告事項

1. 令和 6 年度 第 2 回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

笹良部会長より【資料 1】に基づき、報告があった。

協議事項

1. 令和 7 年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

次回へ持越しとなった。

2. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）ロジックモデルにおける所掌分野の進捗について
増田委員より【資料 3】に基づき、報告があった。

3. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の指標の測定について

増田委員より追加資料に基づき、進捗の報告があった。

有賀先生より「現在記載されている評価は客観データを取るのが難しいと思う。スクリーニングの部分で緩和ケアチームが残した記録があるので、一番大きな分母と分子の一部は客観的な数値目標とか数値で出せると思うが、その中間のプロセスは出しづらいのではないか。琉大の場合はがん患者さんと診断されると一応全員 100%評価していることになっているが、その段取りになっていない病院の場合は出しづらさがあると思う。そもそも出せないとなった場合は医療者調査のような主観的な評価項目になると思っています」と意見があった。屋良委員より「指標 1-2 項目の 3 番目の“速やか”をどのように判断したら良いか、難しい」と意見があった。笹良委員より「十分・速やかというのは非常に主観的かつ難しいので、モニタリングをやっていて痛みがある人の割合と介入件数の割合がある程度指標にはなり得るのかなと思いますが、皆さんはいかがでしょうか？」と意見があった。友利委員より「実際にやってみないとできる・できない等、ここで議論してもわからないと思いますが、どうでしょうか？」と意見があった。中島委員より「一個一個を考えていくと、結局全国と比べる事はやはり大事で、いけない項目で全国と比べて沖縄は数値的に低いのであれば、単に数字をあげるというより、どうやったら数字が上がるのか議論をしたり、本来であれば県のがん対策時にメソドロギーやエビデミオロジーの人がいてしかるべきかなと思う。その方々は緩和やがんの専門家ではないので知らないところは対話で埋めていき、色々やりとりしていくと現実可能性の高い指標で評価できるかなと思う。また、大事な項目の評価方法がバラバラだと今後全国との比較もできないと思うのでその先に繋がるようなことというは是非メソドロギーの人に入ってもらい議論をした方が良いのでは？」と意見があった。増田委員より

り「では、ベンチマーク部会に疫学者、がん対策等関わっている方が3人いるので、その3人と緩和ケア部会から数名出て頂いて詰めていこうと思います」と回答があった。詳しい日程等は後日各委員へ相談する事となった。

4. 上記の進捗状況の結果を踏まえた今後の活動計画について
次回へ持越しとなった。

5. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

(1) 琉球大学病院

安次富委員欠席、有賀先生が途中退席のため、【資料5】は各自で確認する事となった。

(2) 中部病院

安座間委員より【資料6】に基づき、「スクリーニングについて緩和ケア委員会でリンクナースへ再度スクリーニングの方法等周知した結果、実施率がかなり上がった。ですが、外来での実施率が上手く出来ていなかったのもので、今後実施の方法を工夫していきたいと思う。また、除痛率は実施率が低かったのもので今回は出していないが次回は皆さんへ共有したい」と報告があった。

(3) 那覇市立病院

友利委員より【資料7】に基づき、「前回話したIPOS等使っていくと話したが、機能評価に向けてこの部分はやっていないので前回とほとんど変わっていません」と説明があり、鎮痛薬処方率も資料に基づき報告があった。笹良委員より「痛みが出ている黄色の人達には緩和ケアチームが介入できていて、だいたい把握できていますか？」と質問があり、「緩和ケア依頼が無くても、痛みがあった場合は専門看護師や認定看護師の方へリンクナースから話があるので一応チームというか認定のどなたかが関与しているというふうに思ってもらえればと思う」と回答があった。

6. 次回令和6年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

笹良部会長より「次回の開催は令和7年度3月頃、日程は調整さんで決定します」と報告があった。

7. その他

特になし

報告事項

2. 令和6年度 第3回緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング 議事要旨

時間の都合上、各自で確認する事となった。

3. 令和6年度 緩和ケア研修会開催日程一覧について

時間の都合上、各自で確認する事となった。

4. 令和6年度 緩和ケア研修会の報告について

▼沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 《第3回 9月28日(土)》

川田委員より【資料10】に基づき、「当院では今年初めてコミュニケーションのロールプレイ時にシナリオが固まったものを使用した。研修員の先生が多かった事もあり、最初から設定があった方が後の設定がスムーズにできたと声があり、ファシリテーターからもかなり好評でした」と報告があった。

▼沖縄県立中部病院・沖縄県立八重山病院【共催】 《第4回 10月26日(土)》

▼沖縄県立中部病院・沖縄県立宮古病院【共催】 《第6回 11月30日(土)》

安座間委員より【資料11・13】に基づき、「受講生は研修医が中心だが、看護師や心

理師等多職種の参加も見られた。ファシリテーターより医師役の体験を看護師にしてみもらいたいと意見があり、多職種のシナリオは使用せず、医師・患者・観察者役のみのシナリオを使用しました」と報告があった。

▼北部地区医師会病院 《第5回 11月23日(土)》

野里副部長より【資料12】に基づき、「受講生がコメディカルの参加が多かったのでコミュニケーションのシナリオは各職種のものを使用した。研修会終了後の反省会ではシナリオをその場で考えるのは上手くいかないという結果もあり、来年からはある程度決まったシナリオを作って活用していく事になった」と報告があった。

▼中頭病院 《第7回 12月8日(日)》

時間の都合上、各自で確認する事となった。

5. GRACE 研究会について

笹良部会長より【資料14】に基づき、報告があった。

6. 意思決定支援の研修会 E-FIELD について

笹良部会長より「現在詳しい情報はないのでまた分かり次第ご報告する」と報告があった。

7. 日本緩和医療学会 第6回九州支部学術大会について

笹良部会長より【資料16】に基づき、報告があった。

8. 第38回 日本サイコオンコロジー学会総会（2025年度沖縄開催）について

増田委員より【資料17】に基づき、「ホームページが開設されたのでご確認ください。現在、プログラム委員会が立ち上がっていて、2月末迄におおよそのプログラムが決定、同時に一般演題の募集が始まるので是非皆さんご参加頂ければと思う」とご報告があった。

以上